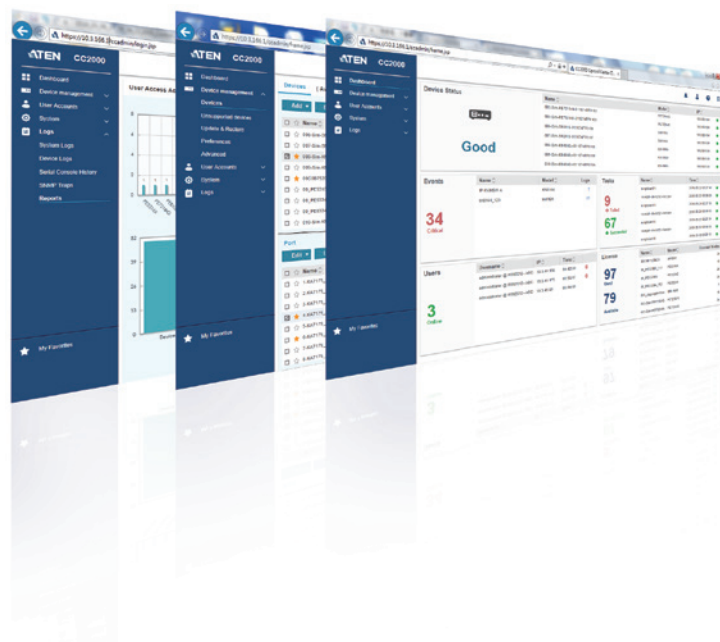


CC2000

統合管理ソフトウェア

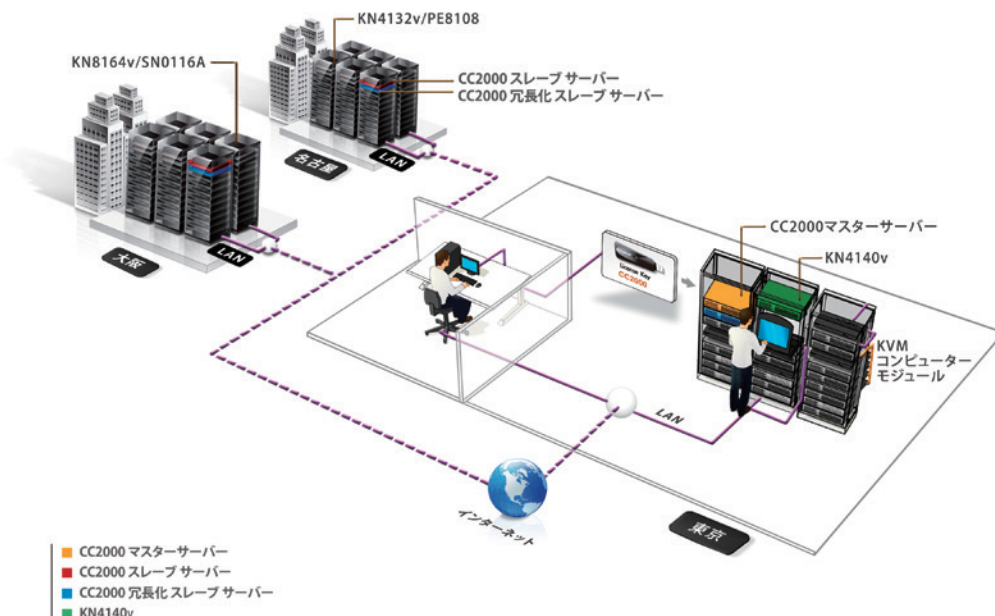
CC2000は、複数のデジタルスイッチやIT機器を統合し、システムからユーザーの管理まですべてリモートから一元化することのできる統合管理ソフトウェアです。本製品の導入によって、広域に分散したデータセンターや支店にあるIT機器でも遠隔地から一括して管理できますので、少ない管理者で効率的にシステムの運用を行うことが可能です。

ALTUSENシリーズのIP-KVMスイッチ、シリアルコンソールサーバーおよび電源管理デバイスの統合管理に加え、VMwareやブレードサーバーの統合管理も可能。物理サーバーと仮想サーバーの混在環境の一元管理を実現する、ハイブリッドタイプのKVMソリューションに進化を遂げました。



CC2000

□ 構成図



□ ポイント

1. システムの制御や管理を一元化

ATEN製のIP対応製品 (IP-KVMスイッチ、シリアルコンソールサーバー、インテリジェントPDU)、および、組み込みサービスプロセッサなどのサードパーティー製デバイス、ならびに、物理サーバーや仮想サーバーの管理を、シングルポータルからシングルサインオンでセキュアに統合管理できる環境を提供します。

2. 管理対象デバイス

CC2000では、IP対応デバイス (IP-KVMスイッチ、シリアルコンソールサーバー、インテリジェントPDU) で選択されたポートから構成されるデバイスを作成することができます。複数のポートからアクセスできるデバイス (ルーター、サーバー、イーサネットスイッチなど) は、これらのポートを「管理デバイス」として組み合わせることができます。ユーザーは管理デバイスにアクセスすることで各ポートへと個別にアクセスする必要がなくなるため、アクセスや管理の方法が簡素化されます。

3. 仮想化

仮想化を行うと、同じタスクを実行するのに物理サーバーが少なくてすむため、企業はサーバーラームを整理して最適化することができます。これによって、ハードウェアにまつわるコストや消費電力を削減できるだけでなく、企業のネットワークインフラを効率化して寿命を延ばすこともできます。

4. ブレードサーバー対応

CC2000は、IBM、Dell、HP各社のブレードシャーシ、および、その他のジェネリックブレードシャーシを含む主要なブレードシャーシに対応しています。

5. パネルダイナアレイ (パネルアレイモード)

このモードを使うと、ディスプレイの画面を複数に分割し、複数のポートのコンソールを一画面で同時に確認することができます。このパネルでは、ディスプレイを開く、移動する、リサイズする、閉じるといった操作が簡単かつ自由自在に行えますので、必要に応じて、優先度の高いデバイスを監視したり、パネルを結合したりすることができます。

6. プライマリー/セカンダリー・アーキテクチャー

統合管理ソフトウェアCC2000は、データベースのリアルタイム更新によってサービスを二重化するために、プライマリー/セカンダリーのサーバー・アーキテクチャーを採用しています。これによって、万が一、CC2000のプライマリーサーバーがダウンした場合でも、そのサーバーがオンラインに復旧するまでの間、セカンダリーサーバーが必要な管理サービスを提供し、CC2000としての機能が常に維持されるため、いつでもデバイスにアクセスできる環境が保たれます。

7. 使いやすいインターフェース

CC2000はグローバルに分散するデータセンターやリモートオフィスにあるIT機器へのアクセスを簡素化できるよう、Webブラウザから直感的に操作できるユーザーフレンドリーなGUIを提供しています。このGUIは多言語対応のため、ユーザー向けのトレーニング時間を最小限に抑え、生産性を上げられるといったメリットがあります。

8. タスクスケジューリング機能

システム全体のルーティンタスク、更新、設定、ファイル・ローディングのような作業を実行する日時のスケジューリングは、容易ではありません。CC2000を使えば、イベントログのエクスポート、デバイスの電源管理、対象デバイスのファームウェアアップグレード、デバイス設定やアカウント情報のバックアップといった、システムメンテナンス関連のタスクを自動的にスケジューリングすることができます。

9. ログ、監視、およびアラート通知

CC2000では柔軟性に富んだ幅広いロギングやレポートのオプションを提供しているため、診断やトラブルシューティング時の追跡に活用することができます。強力な検索機能や、ログカテゴリーの詳細なソート/フィルタリング機能も提供されているため、必要なイベント情報にピンポイントでアクセスすることが可能です。完全なログ情報やログ検索結果は、監査や分析用にエクスポートすることができます。

□ 特長

統合管理

- ・ エンタープライズシステムの一括管理 - 複数の ATEN/ALTUSEN デバイスを統合管理
- ・ シングルポータル、シングルサインオン、シングル IP アドレス - 各デバイスへのセキュアなアクセス環境を提供
- ・ シングルツリービューに全デバイスを集約し、時間や場所に制限されないデバイスへのアクセス・運用管理を実現
- ・ マスター/スレーブの構成によって、リアルタイムのデータベース更新等の機能の冗長性を確保
- ・ 二重冗長 - マスターサーバーの冗長スレーブに加え、スレーブサーバーの冗長スレーブも設定することが可能
- ・ KVM ポート、シリアルポート、デバイスの電源アウトレットを関連付けて、一つの Web 画面で管理することが可能 - アクセス時に使用するインターフェースを一本化
- ・ マルチプラットフォーム対応 - Windows、Linux 対応
- ・ マルチプラットフォームクライアント対応 - Windows、Mac OS X、Linux、Oracle 社 SPARC(Sun) 対応
- ・ 対応ブラウザ - IE、Chrome (但しバージョン 41 まで対応)、Firefox、Safari、Mozilla
- ・ 特定のイベント発生時には指定のユーザーにメール通知
- ・ システム設定、メンテナンスタスクの自動スケジューリング機能
- ・ CC2000 および管理デバイスのシステムイベントをログとして記録
- ・ セッションログにはシリアルデバイスの履歴も記録
- ・ ATEN/ALTUSEN デバイス自動検出機能搭載 - デバイス使用可能状況や警告内容を表示
- ・ アクティブなユーザーセッションやポートをリアルタイムで参照・管理・切断することが可能
- ・ ロールベースアクセス制御 (RBAC)
- ・ Web ブラウザの多言語対応メニューを提供 - 運用前のトレーニングに必要となるコストを削減し、生産性を向上
- ・ 汎用デバイス対応 - CC2000 からサードパーティーのネットワークデバイスにリダイレクト可能
- ・ 広範囲をカバーするレポート機能
- ・ ブレードサーバー対応 (IBM BladeCenter E、BladeCenter S^{*}/HP c3000、c7000^{*}/DELL M1000e、PowerEdge 1855/1955^{*})
- ・ APC PDU (AP79xx、AP89xx、AP86xx) 対応
- ・ Dell DRAC 5、iDRAC 6、IBM RSA II、HP iLO 2、iLO3、iLO4、Dell CMC、IBM AMM および HP OA のシングルサインオンに対応
- ・ アクセス権の統合が可能 - Web、SSH/Telnet、VNC/RDP、SPM、KVM スイッチ、シリアル、ターゲットデバイスへの電源操作
- ・ VMware virtual infrastructure (Center Server/ESX Server/Virtual Machine/vSphere 5.5、6.0、6.5 Windows Server 2008、2012 & 2016、and Citrix XenServer 6.5.) 対応
- ・ 電源管理デバイスとの連携を強化 - KVM ポートを ATEN/ALTUSEN PDU 製品の電源アウトレットに関連付けし、製品インターフェースを使ったサーバー電源のリモート管理が可能に
- ・ Web ベースのウィザードでデバイスのインストールも簡単
- ・ マスターはスレーブからデバイスのポートネームの割り出しが可能。また、マスターはデバイスポートネームをスレーブに送信することが可能。
- ・ 高度なログ検索
- ・ 高機能なセッション管理機能 - マルチセッションを統合 (ATEN デジタル KVM スイッチ、ブレードサーバー、Vmware、PDU 等)
- ・ 使用ライセンス数を抑えられるアグリゲートデバイス - 複数ポートをシングルノードライセンスに統合
- ・ データエクスポート・インポート機能 - リモートサーバーまたはローカルで、インポートやエクスポートの即時実行やスケジューリングが可能。データエクスポートは AES/DES 暗号化に対応
- ・ ODBC、PAP・CHAP 認証対応
- ・ IPv6 対応
- ・ NTS 対応 - 使用デバイスは管理者によって割り当てられたサーバーから正確な時間を取得可能
- ・ SNMP Manager V1、V2c、V3 対応
- ・ Citrix XenServer 対応^{*}
- ・ Syslog 対応

高度なセキュリティ機能

- ・ 内部認証、外部認証の両方に高度なセキュリティ機能を提供 - 外部認証は LDAP、LDAPS、Kerberos、Active Directory、RADIUS、TACACS+、NT ドメイン対応。認証されたユーザーのみデバイスへのアクセスが可能
- ・ CC 管理デバイス経由での認証を必須にすることによって、デバイスへの直接ログインを制限することが可能
- ・ X.509 デジタル証明書準拠
- ・ TLS 1.2 暗号化によるデータ通信および RSA 2048-bit 認証によりブラウザからのセキュアなユーザーログインが可能
- ・ 自由に変更可能なセッションタイムアウト
- ・ サーバーアクセス権限はユーザーまたはグループ単位で設定可能
- ・ 強力なパスワード保護機能 - 変更可能なログイン試行可能回数とユーザー ID ロックアウトのパラメーターは SAS 70 準拠
- ・ デバイスはブラウザ上の名前、MAC アドレス、IP で自身を認識 - KN/SN/PN の各デバイスの IP はブラウザ上に非表示
- ・ IP アドレス、MAC アドレスによるフィルタリング機能
- ・ 認証が必要なリモートアクセスはログに履歴を記録
- ・ プライベート CA 認証対応
- ・ キーボード / マウス、ビデオ、バーチャルメディアの各信号の個別暗号化 - 各信号の暗号化方式は 56-bit DES、168-bit 3DES、256-bit AES、128-bit RC4、ランダムの中から選択可

ALTUSEN Over IP 製品との併用で利用可能な機能

- ・ BIOS レベルの操作
- ・ バーチャルメディア
- ・ バーチャルリモートデスクトップ

- ・ 終了マクロ
- ・ マウスダイナシンク - ローカルとリモートのマウスカーソルの動きを自動同期
- ・ パネルダイナアレイ (パネルアレイモード) - 一画面を分割し、複数のポート出力の監視が可能
- ・ メッセージボード - ログインユーザー間のコミュニケーションを実現
- ・ 拡張可能なビデオ表示

※ V.2.2で対応

□ 仕様

機能	CC2000
CC2000 サーバーシステム要件	対応プロセッサ Intel® Pentium™4 2.6GHz 以上 必要メモリ容量：512MB 以上 (1GB 以上推奨) 必要ディスク容量：500MB 以上 ネットワーク転送速度：100Mbps 以上 (ギガビット LAN 推奨) 対応 OS： 7 または以降のバージョン、Server 2008 または Server 2013 Linux：Red Hat Enterprise Linux V4、V5、Novell SUSE Enterprise Server 9、10、Ubuntu 15.10、Debian 8.2、Fedora 23、OpenSUSE 13.1、CentOS 7 Windows、Linux のいずれの環境においても、Java Runtime Environment(JRE) 8 以降のバージョン (最新版推奨) のインストールが必要です。 < CC2000 クライアント システム要件 > 対応 OS：IE 6 以降、Firefox 1.5 以降、Mozilla 1.7 以降、Chrome 41 以前
動作環境	
動作温度	0 ~ 40℃
保管温度	-20 ~ 60℃
湿度	0 ~ 80%RH、結露なきこと
ケース	
ケース材料	メタル、プラスチック
重量	0.01kg
サイズ (W × D × H)	28 × 85 × 14mm

□ CC ライセンス体系表

CC2000 ライセンスパック			
型番	ノード数	マスター	スレーブ
CC2000-TN	32	1	-
CC2000-XL	64	1	-
CC2000-LE	128	1	-
CC2000-LS	256	1	-
CC2000-SD	512	1	1
CC2000-PS	2,048	1	5
CC2000-PM	5,120	1	9
CC2000-PL	無制限	1	15
CC2000-MX	無制限	1	31

追加ノードライセンス			
型番	ノード数	マスター	スレーブ
CCN1	1	-	-
CCN10	10	-	-
CCN50	50	-	-
CCN100	100	-	-
CCN500	500	-	-
CCN1000	1,000	-	-
CCN10000	10,000	-	-

追加スレーブ			
型番	ノード数	マスター	スレーブ
CCS1	-	-	1